

さくらぎ

No, 8

(桐生市立桜木中学校 学校だより)

平成27年 7月 6日

市中総体激励壮行会から (7月3日実施)



激励壮行会が行われ、二つのこととお話ししました。

まず一つ目は、「運」です。

私たち人間は、ささやかではありますが自分の夢や希望を持っています。その自分なりの夢や希望に向かって、日々努力し、時にはくじけそうになりながら、少しでも、それに近づこうと真剣に生きています。しかし、自分の努力や能力だけではどうにもならない事が必ず起きます。

それが、「運」です。ぜひ、この「運」を大切にし、自分のものとして、掴んでください。

二つ目は、「感謝の心」です。

皆さんが、この地球上で生きているということは、多くの人々との関わりで成り立っています。

自分一人で生きているような錯覚を持ちがちですが、よく考えると沢山の人々にお世話になりながら生活しているのです。特に3年生は、最後の大会になります。今まで一生懸命に応援してくれた家族の方々、熱心に指導して下さった先生方、様々な方々への「感謝の心」を忘れずに、最後まで全力で戦ってください。

以上、激励の言葉を贈ります。

「いのちを守る！ー応急手当とAEDー」 (6/22実施)

桐生市消防本部職員の皆さまを講師にむかえ、職員研修会を実施しました。子どもの安全を守ることを第一に考え、真剣に研修を受講しました。

また、7/14(火)には、2年生を対象に同様の講習会を予定しています。



食についての指導

(6/23実施)

1年生を対象に、共同調理場の栄養士さんをお招きし、「食に関する指導」(朝食を見直そう)を実施しました。



1-2

避難訓練 (6/24実施)

桐生市消防本部・第12分団の皆さまの指導のもと、地震・火災を想定した避難訓練を実施しました。



「最悪を想定し、最善を尽くす。」

第1回家庭教育学級並びに開講式 (6/25実施)

心のきらめき事業の一環の子育て講座として、歯周病予防について、本校の学校歯科医 森島愛一郎先生 を講師にお招きし、お話をいただきました。

(全校生徒、職員、保護者11名参加)



情報モラル講習会が開催されました。 (6月29日実施)

～おせのかみさま～

桐生市では、青少年の健全育成に悪影響のあるサイトや悪質な書き込み等を見回り、ネットの現状をできる限り把握し、子ども達をネットの危険から守ることを目的として様々な活動を青少年センターを中心に行っています。その一つとして、ぐんま子どもセーフネット活動委員会と協力して、情報モラル講習会を各小・中(私立中含む)学校で、年1回実施しています。

今回、桜木中学校では、青少年センターから、阿部指導主事さんと向田青少年指導員、そして講師として、ぐんま子どもセーフネット活動委員会の久保朋子さんを迎え、LINE上(SNS)のトラブルを中心に講習会を開催いたしました。

使う側のモラル一つで、便利性・危険性を含んでいると改めて考えさせられました。

最後に、向田青少年指導員より、桐生市青少年センターの相談業務について、お話をいただきました。



第65回「桐生市社会を明るくする運動」市民大会

(7月1日実施)



上記大会が、市民文化会館小ホールで開催されました。～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～をテーマに、各種団体の皆様が協力して青少年の健全育成を推進する運動です。期間は7月1日から7月31日の1ヶ月間です。大会の中で、桐生市の全ての中学校から3名の生徒が選ばれ、作文の発表がありました。本校の生徒も代表者に選出され、3年3組の若月美友さんが「後悔から」と言う題で朗読を行いました。堂々と大変立派でした。

桐生市中学校弁論大会 (7月2日実施)

桐生市中学校弁論大会が桐生市立中央公民館を会場に開催されました。この大会には市内の公・私立中学校とあさひ特別支援学校の代表生徒16名が出場しました。

すでにお知らせしましたように、本校からは3年3組の金井瑞帆さんが、学校代表として出場しました。2番目に登壇した金井さんは「言葉」を演題に、堂々の弁論ができました。身近な出来事から言葉の大切さを考えた内容はとても素晴らしく、態度もとても立派でした。

結果はみごと優秀賞に輝き、表彰されました。

○桐生市中学校弁論大会
優秀賞 金井 瑞帆 (3年)

